

赤坂御用地と常盤松御用邸のハバチ・キバチ類

篠原明彦¹⁾

Akihiko Shinohara¹⁾: Sawflies and Woodwasps of the Akasaka Imperial Gardens
and the Tokiwamatsu Imperial Villa, Tokyo

ハバチ・キバチ類は幼虫が植物を食べて成長する原始的なハチの一群である。日本からは11科約730種が知られる(篠原, 1998)。東京都区内のハバチ・キバチ類については、1949年から1951年にかけて港区の自然教育園(当時の文部省国立自然教育園)で行われた調査の結果が公表されているが、それ以外にはごく少数の種が板橋区などの昆虫類調査の結果として報告されているに過ぎなかった(文部省国立自然教育園, 1952; 篠原, 1986, など)。1996年から順次行われた皇居(1996–1999年)ならびに自然教育園(1999–2000年)の調査の結果、皇居では7科60余種、自然教育園では3科30余種のハバチ・キバチ類の生息が確認された(篠原, 2000, 2001)。この小文では2002年から2004年にかけて行われた赤坂御用地(港区)と常盤松御用邸(渋谷区)の調査結果を報告する。

本研究に使用された標本は、大部分が大和田守博士によって設置されたマレーズトラップによって得られたものである(大和田ほか, 2005a, b)。以下の検視標本のリストではこのトラップによって採集された標本については採集者名を省略した。その他の標本は捕虫網による見つけ取りかスウィーピングによって得られた。標本はすべて国立科学博物館動物研究部に保管されている。各種の和名, 学名, 分布データについてはおもに阿部・富樫(1989), 寄主植物に関するデータはおもに奥谷(1967a, b, 1970)によった。その後の追加および訂正については文献を引用し, あるいはコメントを付した。ただし篠原(2000, 2001)に引用されたものについては割愛した。ハバチ科の亜科の分類については内藤ほか(2004)に従い, 同一科内あるいは亜科内の種の配列は学名のアルファベット順とした。

調査にご協力いただいた方がた, とくに国立科学博物館の大和田守博士, 秩父市の南部敏明氏, 東京医科歯科大学の篠永 哲博士, 名城大学の有田 豊博士, 西東京市の慶野志保子氏, ならびに宮内庁庭園課の諸氏, および *Neostromboceros yakusimensis* の標本を同定していただいた神戸大学の内藤親彦博士に謝意を表す。

調査結果

赤坂御用地でナギナタハバチ科1種, キバチ科1種, ミフシハバチ科4種, ハバチ科44種の計4科50種, 常盤松御用邸でミフシハバチ科2種, ハバチ科10種の計2科12種が得られた。このほか赤坂御用地でハバチ科キモンハバチ属が数種採集されているが種までの分類ができなかった。また, そのほかのハバチ科12種についてはさらに分類学的検討が必要で今回は種名を確定できなかった。

表1に皇居, 自然教育園, 赤坂御用地ならびに常盤松御用邸で採集されたハバチ・キバチ類を示す。この表では同一属に複数の未同定種がある場合にはそれらの未同定種をそれぞれに別項目とせず属単位にまとめて1項目として扱った。ハバチ科の *Priophorus* 属, *Pristiphora* 属, *Ametastegia* 属, *Empria* 属, *Pachyprotasis* 属がこれにあたる。

¹⁾ 国立科学博物館動物研究部 東京都新宿区百人町3-23-1

Department of Zoology, National Science Museum, Hyakunincho 3-23-1, Shinjuku, Tokyo, 169-0073 Japan
E-mail: shinohar@kahaku.go.jp

表 1. 東京都内 4 調査地域で発見されたハハバチ・キバチ類

和名	学名	皇居			自然教育園		赤坂御用地 常盤松御用邸 2002-2004
		1996-1999	1949-1951	1999-2000			
ナギナタハハバチ科	Xyelidae						
マダラナギナタハハバチ	<i>Xyela variegata</i> Rohwer, 1910	×				×	
キバチ科	Siricidae						
クロヒラアシキバチ	<i>Tremex apicalis</i> Matsumura, 1912	×	×			×	
ニホンキバチ	<i>Urocerus japonicus</i> (Smith, 1874)		×				
ニトベキバチ	<i>Sirex nitobei</i> Matsumura, 1912		×				
クビナガキバチ科	Xiphytriidae						
クロクビナガキバチ	<i>Xiphytria annulitibia</i> Takeuchi, 1936	×		×			
クキバチ科	Cepheidae						
クシヤノキクバチ	<i>Sinicephus giganteus</i> (Enderlein, 1913)	×					
ミフシハハバチ科	Argidae						
アカスジチュウレンジ	<i>Arge nigrirodosa</i> (Motschulsky, 1859)	×	×			×	
シリグロチュウレンジ	<i>Arge nigrovaginata</i> Malaise, 1931	×				×	
カタアカチュウレンジ	<i>Arge rejecta</i> (Kirby, 1882)	×		×		×	×
ルリチュウレンジ	<i>Arge similis</i> (Vollenhoven, 1860)	×		×		×	×
ニホンチュウレンジ	<i>Arge nipponensis</i> Rohwer, 1910			×			
チュウレンジバチ	<i>Arge pagana</i> (Panzer, 1798)	×					
コンボウハハバチ科	Cimbricidae						
アケビコンボウハハバチ	<i>Zaraea akebii</i> Takeuchi, 1931	×				×	
アオコンボウハハバチ	<i>Zaraea lewisii</i> (Cameron, 1886)			×			
ナシアシブトハハバチ	<i>Paleocimbex carinulatus</i> (Konow, 1897)			×			
ホシアシブトハハバチ	<i>Agenocimbex jucundus</i> (Mocsáry, 1896)			×			
ハハバチ科	Tenthredinidae						
シダハハバチ亜科	Selandriinae						
キバワラビハハバチ	<i>Aneugmenus japonicus</i> Rohwer, 1910	×					
タカトラノオハハバチ	<i>Birka carinifrons</i> (Malaise, 1931)			×			
ナガスギナハハバチ	<i>Dolerus gessneri</i> André, 1880	×				×	
オスグロハハバチ	<i>Dolerus similis japonicus</i> Kirby, 1882	×		×			
スギナハハバチ	<i>Dolerus subfasciatus</i> Smith, 1874	×		×		×	
シケシダトガリハハバチ	<i>Hemitaxonus minomensis</i> Takeuchi, 1929			×			
ヒメクサクソツチハハバチ	<i>Hemitaxonus struthiopteridis</i> (Forsius, 1910)	×		×		×	×
	<i>Heptamelus</i> sp.					×	
ヒメムネアカハハバチ	<i>Loderus eversmanni obscurus</i> (Marlatt, 1898)					×	×

カタアカスギナハバチ	<i>Loderus genueinctus insulicola</i> (Rohwer, 1910)	×	×	×	×	×
シケシダハバチ	<i>Neostromboceros sinanensis</i> Takeuchi, 1941	×	×	×	×	×
	<i>Neostromboceros yakusimensis</i> Takeuchi, 1941	×	×	×	×	×
	<i>Nesoselandria ventralis</i> Takeuchi, 1941	×	×	×	×	×
ナガゼンマイハバチ	<i>Strongylogaster secunda</i> (Takeuchi, 1929)	×	×	×	×	×
ヒゲナガハバチ亜科	Nematinae					
ナシミバチ	<i>Hoplocampa pyricola</i> Rohwer, 1924	×				
	<i>Nematus</i> (<i>Pteronidea</i>) sp.	×				
	<i>Priophorus</i> spp.	×				
	<i>Pristiphora</i> spp.	×				
サクハラヒメハバチ	<i>Trichocampus pruni</i> Takeuchi, 1956	×	×	×	×	×
クンヒゲハバチ	<i>Cladius pectinicornis</i> (Geoffroy, 1785)	×	×	×	×	×
ハムグリハバチ亜科	Heterarthrinae					
ケヤキナメクジハバチ	<i>Caliroa zelkova</i> Oishi, 1961	×				
クマイチゴハムグリハバチ	<i>Metallus pumilus</i> (Klug, 1814)	×				
	<i>Profenusa japonica</i> Togashi, 1981	×	×	×	×	×
	<i>Profenusa</i> sp.	×				
マルハバチ亜科	Blennocampinae					
シモツケマルハバチ	<i>Apareophora japonica</i> Takeuchi, 1952	×				
バラクキハバチ	<i>Ardis pallipes</i> (Serville, 1823)	×				
ムモンムネアカハバチ	<i>Eutomostethus hyalinus</i> Takeuchi, 1936	×	×	×	×	×
	<i>Eutomostethus lubricus</i> Seiyama, 1981	×				
	<i>Eutomostethus togashii</i> Seiyama, 1981	×	×	×	×	×
	<i>Nipponostethus imperialis</i> Togashi, 1997	×				
	<i>Pareophora gracilis</i> Takeuchi, 1952	×				
サクラホソハバチ	<i>Phymatocera nipponica</i> Togashi, 1958	×	×	×	×	×
ヒゲナガマルハバチ	<i>Phymatoceros japonica</i> (Malaise, 1931)	×				
ウマノアシガタハバチ	<i>Stethomostus fuliginosus</i> Schrank, 1781	×	×	×	×	×
	<i>Stethomostus</i> sp.	×				
	<i>Zaphymatocera nipponica</i> Togashi, 1984	×				
ハグロハバチ亜科	Allantinae					
ハグロハバチ	<i>Allantus luctifer</i> (Smith, 1874)	×	×	×	×	×
オオシロオビクロハバチ	<i>Allantus meridionalis</i> (Takeuchi, 1933)	×	×	×	×	×
タデハバチ	<i>Allantus nigrocaeruleus</i> (Smith, 1874)	×	×	×	×	×
イタドリクロハバチ	<i>Ametastegia polygona</i> Takeuchi, 1929	×	×	×	×	×
	<i>Ametastegia</i> spp.	×				

表 1. 続き.

和名	学名	自然教育園				赤坂御用地 常盤松御用邸 2002-2004
		皇居 1996-1999	1949-1951	1999-2000		
セゴカブラハバチ	<i>Athalia infumata</i> (Marlatt, 1898)	×	×	×	×	×
ニホンカブラハバチ	<i>Athalia japonica</i> (Klug, 1815)	×	×	×	×	×
イヌノフグリハバチ	<i>Athalia kashimirensis</i> Benson, 1932	×	×	×	×	×
カブラハバチ	<i>Athalia rosae ruficornis</i> Jakovlev, 1898	×	×	×	×	×
	<i>Empria</i> spp.	×		×		
クルミマルハバチ	<i>Eriocampa kurumivora</i> Togashi, 1980	×				
アカネハバチ	<i>Hemibeleses nigriceps</i> Takeuchi, 1929		×			
	<i>Hemibeleses ventralis</i> Takeuchi, 1952			×		
	<i>Hemibeleses yaemugurae</i> Togashi & Kondo, 1979			×		
チャイロハバチ	<i>Nesotaxonus flavescens</i> (Marlatt, 1898)		×			
ツノキクロハバチ	<i>Taxonus fubicornis</i> Matsumura, 1912	×		×		×
バラクロハバチ	<i>Taxonus japonicus</i> Takeuchi, 1929	×		×		×
ハバチ亜科	Tenthredininae					
ウラシマソウハバチ	<i>Aglaostigma albicinctum</i> (Takeuchi, 1953)		×	×		
クロムネハバチ	<i>Lagidina irritans</i> (Smith, 1874)	×	×			×
ヒゲナガハバチ	<i>Lagidina platyeerus</i> (Marlatt, 1898)		×			×
ツマジロクロハバチ	<i>Macrophya apicalis</i> Smith, 1874	×	×	×		×
オオククロハバチ	<i>Macrophya carbonaria</i> Smith, 1874	×	×	×		×
コマククロハバチ	<i>Macrophya crassuriformis</i> Forsius, 1925		×	×		
シマククロハバチ	<i>Macrophya falsifica</i> Mocsary, 1909		×	×		
クロハバチ	<i>Macrophya ignava</i> Smith, 1874	×	×	×		×
マライセクロハバチ	<i>Macrophya malaisei</i> Takeuchi, 1937	×	×	×		×
ココロハバチ	<i>Macrophya timida</i> Smith, 1874	×	×	×		×
キモンハバチ類	<i>Pachyprotasis</i> spp.	×		×		
オオシアカハバチ	<i>Siobla ferox</i> (Smith, 1874)		×			
コシアカハバチ	<i>Siobla sturmitii</i> (Klug, 1818)	×		×		×
トガリハチガタハバチ	<i>Tenthredo fortunei</i> (Kirby, 1882)		×			×
コシキハバチ	<i>Tenthredo gifui</i> Marlatt, 1898	×	×	×		×
ハラナガハバチ	<i>Tenthredo hilaris</i> Smith, 1874	×				
キコシホソハバチ	<i>Tenthredo mortivaga</i> Marlatt, 1898	×				×
クロムネアオハバチ	<i>Tenthredo nigropicta</i> (Smith, 1874)	×		×		×
オオツマグロハバチ	<i>Tenthredo providens</i> Smith, 1874	×	×	×		×

文献

文部省国立自然教育園 (1952)

篠原 (2000)

篠原 (2001)

本研究

本研究

皇居、自然教育園、赤坂御用地ならびに常盤松御用邸で得られたハバチ・キバチ類を比較すると、皇居からもっとも多く種が得られている。これは調査地の緑地の規模、調査の期間、頻度などから予想される結果である。一方、赤坂御用地で発見されたハバチ・キバチ類の80%近くの種は皇居でも得られている。現在皇居で発見され赤坂御用地で発見されていないのは、クビナガキバチ科のクロクビナガキバチ、クキバチ科のチシャノキクキバチ、コンボウハバチ科のアケビコンボウハバチ、ハバチ科のキバラワラビハバチなど15種の計18種である。一方現在赤坂御所で発見され皇居で発見されていないのは、いずれもハバチ科のヒメムネアカハバチなど9種である。後者のうち、ヒメムネアカハバチ、*Nesoselandria ventralis* Takeuchi, 1941, ケヤキナメクジハバチ、*Eutomostethus lubricus* Seiyama, 1981, ならびに *Zaphymatocera nipponica* Togashi, 1984 の5種は東京都からの初の分布記録となる。残りの4種のうち、すでに自然教育園から記録されているヒゲナガクロハバチを除く3種はいずれも分類学的検討が必要で今回は種名を確定できなかった種である。常盤松御用邸で得られた12種のうちハバチ科のサクラヒメハバチを除く11種は赤坂御用地でも採集された。この中には東京都初記録となる、前述の *Nesoselandria ventralis* Takeuchi, 1941 も含まれている。

このように赤坂御用地、常盤松御用邸のハバチ・キバチ相は皇居のそれと共通点が多く、また1999年から2000年にかけて行われた自然教育園の調査で得られた3科29種のハバチ・キバチ類も、ハバチ科のウラシマソウハバチ1種を除きすべて皇居か赤坂御用地で見つかっている。さらに長期的な詳細な調査を行えば、これらの地域間の相違はさらに小さくなるものと予測される。すなわち、この一連の調査で明らかになったこれらの地域のハバチ・キバチ相は、東京の低地における現在の典型的なハバチ・キバチ類の種構成を代表していると考えてよいであろう。一方で、1949年から1951年のあいだに行われた自然教育園における昆虫相調査の結果記録されたハバチ・キバチ類はかなり異なった種を多く含む(文部省国立自然教育園, 1952)。半世紀前のこの調査で記録された4科41種のハバチ・キバチ類のうち、1996年から始まった皇居、自然教育園、赤坂御用地ならびに常盤松御用邸における調査で発見されなかった種は、ほぼ半数の4科20種におよぶ。その原因としては、都内の環境の変化や調査方法の違い、種の同定の問題などが考えられる。前回の自然教育園の調査で得られた標本類の所在が不明なのは大変残念であるが、東京都内のハバチ・キバチ相の実体を把握し、その変遷を理解するためには、今後は都内に残されたさまざまな緑地の調査をさらに進めるとともに、東京都内で古い時代に採集された標本の調査なども合わせて行う必要がある。

本調査で得られたハバチ・キバチ類

ナギナタハバチ科 Xyelidae

1. マダラナギナタハバチ *Xyela variegata* Rohwer, 1910

検視標本。[赤坂御用地]: 15. IV. 2003, 1♀。

分布。日本(本州, 四国, 九州)。

寄主植物。アカマツ。

従来マダラナギナタハバチと呼ばれていた種には、分布が重なりいずれもアカマツを寄主とするきわめて近縁な2種が含まれることが最近の研究によって判明した(Blank *et al.*, 印刷中)。とくにメスは判別が難しいが、今回の調査で得られた個体は前翅長と産卵管鞘の長さの比からマダラナギナタハバチ(*X. variegata*)と同定される。本種は局地的に多産することがあるが、体が小さくて目立たないうえに成虫の発生時期が早春のごく短い時期に限定されるため、採集されることは少ない。東京都区内では皇居でも発見されている(篠原, 2000)。

キバチ科 Siricidae

1. クロヒラアシキバチ *Tremex apicalis* Matsumura, 1912

検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 1♂ (篠原); 21. V. 2003, 2♂ (篠原); 13. V. 2004, 2♂ (南部).

分布. 日本 (本州, 九州), 朝鮮半島.

寄主植物. イタヤカエデ, イロハカエデ, ソメイヨシノ, シラカン.

幼虫は寄主植物の幹に穿孔する. 東京都区内では, 港区の自然教育園, 皇居, ならびに中央区の浜離宮庭園で採集されている (篠原, 2000).

ミフシハバチ科 Argidae

1. アカスジチュウレンジ *Arge nigrinodosa* (Motschulsky, 1859)

検視標本. [赤坂御用地]: 15. VI. 2004, 1♂ (南部); 20. VIII.-2. IX. 2003, 1♀; 21. V. 2003, 1♀ (篠原).

分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州), ロシア極東.

寄主植物. バラ類.

本州では普通に産する. 東京都区内では, 港区の自然教育園, 板橋区および皇居から記録されている (篠原, 2000).

2. シリグロチュウレンジ *Arge nigrovaginata* Malaise, 1931

検視標本. [赤坂御用地]: 29. IV.-13. V. 2003, 1♂; 14. V.-4. VI. 2003, 1♂; 25. VI.-1. VII. 2003, 1♂.

分布. 日本 (本州), ロシア沿海州, 朝鮮半島.

寄主植物. ?バラ類 (Takeuchi, 1949; 奥谷, 1967a).

東京都区内では皇居からも記録されている (篠原, 2000) が, 少ない種である.

3. カタアカチュウレンジ *Arge rejecta* (Kirby, 1882)

検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 2♀1♂ (篠原); 13. V. 2002, 1♂ (南部); 8. VII. 2002, 1♀ (南部); 29. IV.-13. V. 2003, 2♂; 6. V. 2003, 2♂2♀ (南部); 14. V.-4. VI. 2003, 1♂; 9-15. VII. 2003, 1♂; 21. V. 2003, 9♂6♀ (篠原); 13. V. 2004, 1♀ (南部). [常盤松御用邸]: 12. V. 2003, 2♂ (篠原).

分布. 日本 (本州, 四国, 九州, 対馬, 屋久島).

寄主植物. キイチゴ類.

あまり多くない種であるが, 皇居と港区の自然教育園でも採集されている (篠原, 2001).

4. ルリチュウレンジ *Arge similis* (Vollenhoven, 1860)

検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 1♂ (篠原); 8. VII. 2002, 2♂ (南部); 22. VII. 2003, 1♀ (有田・大和田・池田); 13. V. 2004, 1♂ (南部). [常盤松御用邸]: 23. V. 2002, 1♀ (大和田); 12. V. 2003, 2♂ (篠原).

分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州, 屋久島), 朝鮮半島, 台湾, 中国.

寄主植物. ツツジ類.

幼虫はツツジの害虫として知られ, 公園の植え込みなどでもよく見られる. 東京都区内ではこれまで港区の自然教育園, 目黒区, 板橋区, 北区, 杉並区, 新宿区, 皇居から記録されている (篠原, 2000).

ハバチ科 Tenthredinidae
シダハバチ亜科 Selandriinae

1. ナガスギナハバチ *Dolerus gessneri* André, 1880
 検視標本. [赤坂御用地]: 2-15. IV. 2003, 3♂3♀; 16-28. IV. 2003, 3♂1♀; 30. III. 2004, 1♀ (慶野).
 分布. 日本 (北海道, 本州), サハリン, シベリア, ヨーロッパ.
 寄主植物. スギナ (内藤ほか, 2004).
 東京都区内では, 皇居で採集されている (篠原, 2000).
2. スギナハバチ *Dolerus subfasciatus* Smith, 1874
 検視標本. [赤坂御用地]: 18. III.-1. IV. 2003, 4♂; 2-15. IV. 2003, 18♂2♀; 16-28. IV. 2003, 7♂2♀.
 分布. 日本 (本州).
 寄主植物. スギナ.
 東京都区内では, 港区の自然教育園と皇居から記録されている (篠原, 2001).
3. ヒメクサソテツハバチ *Hemitaxonus struthiopteridis* (Forsius, 1910)
 検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 3♂5♀ (篠原); 2-15. IV. 2003, 19♂5♀; 16-28. IV. 2003, 11♂3♀; 29. IV.-13. V. 2003, 1♂1♀; 14. V.-4. VI. 2003, 1♂; 21. V. 2003, 1♂ (篠原); 30. III. 2004, 1♂ (慶野).
 分布. 日本 (北海道, 本州), 千島, シベリア, ヨーロッパ.
 寄主植物. クサソテツ類.
 東京都区内では皇居ならびに港区の自然教育園からも得られている (篠原, 2001).
4. *Heptamelus* sp.
 検視標本. [赤坂御用地]: 29. IV.-13. V. 2003, 1♀. [常盤松御用邸]: 28. IV.-13. V. 2003, 1♀.
Heptamelus takeuchii Togashi, 1961 に似るが, 種名を決定できなかった.
5. ヒメムネアカハバチ *Loderus eversmanni obscurus* (Marlatt, 1898)
 検視標本. [赤坂御用地]: 2-15. IV. 2003, 3♀.
 分布. 日本 (本州, 九州).
 寄主植物. スギナ.
 カタアカスギナハバチに混じって採集されるが, 比較的少ない. 東京都区内からは初めて記録される.
6. カタアカスギナハバチ *Loderus genucinctus insulicola* (Rohwer, 1910)
 検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 1♀ (篠原); 18. III.-1. IV. 2003, 3♂2♀; 2-15. IV. 2003, 16♂18♀; 16-28. IV. 2003, 2♂7♀; 29. IV.-13. V. 2003, 3♀; 14. V.-4. VI. 2003, 2♀; 5-10. VI. 2003, 2♀; 13. V. 2004, 2♂ (南部); 30. III. 2004, 2♀ (慶野). [常盤松御用邸]: 30. III. 2003, 4♂ (有田・大和田・慶野); 7. IV. 2004, 4♂ (大和田).
 分布. 日本 (本州, 九州).
 寄主植物. スギナ.
 各地にふつうの種で, 都内では皇居と港区の自然教育園から記録がある (篠原, 2001).
7. *Neostromboceros yakusimensis* Takeuchi, 1941
 検視標本. [赤坂御用地]: 8. VII. 2002, 1♀ (南部); 2-15. IV. 2003, 1♀; 16-28. IV. 2003, 2♂1♀; 29. IV.-13. V. 2003, 2♀; 5-10. VI. 2003, 1♀; 11-17. VI. 2003, 2♀; 18-24. VI. 2003, 2♀; 30. VI. 2003, 1♀ (南部); 16-22. VII. 2003, 1♀; 30. VII.-6. VIII. 2003, 2♀; 7-19. VIII. 2003, 2♀; 20. VIII.-2. IX.

2003, 16♀; 3-16. IX. 2003, 5♀; 17-30. IX. 2003, 4♀; 1-14. X. 2003, 2♂4♀. [常盤松御用邸]: 26. VII.-15. VIII. 2002, 1♀; 15-30. VIII. 2002, 1♀; 12-26. IX. 2002, 1♀; 30. VIII. 2002, 1♂ (大和田); 4-10. VI. 2003, 1♀.

分布. 日本 (北海道, 本州, 九州, 屋久島).

寄主植物. シケシダ.

東京都区内では皇居でも採集されている (篠原, 2000).

8. *Nesoselandria ventralis* Takeuchi, 1941

検視標本. [赤坂御用地]: 14. V.-4. VI. 2003, 1♀; 30. IV. 2002, 1♀ (南部). [常盤松御用邸]: 13. V.-4. VI. 2003, 2♀; 28. IV.-13. V. 2003, 1♂2♀.

分布. 日本 (本州).

寄主植物. 不明.

長野県島々, 大阪府箕面, 奈良県吉野産の標本を基に記載された種である (Takeuchi, 1941) が, その後の採集記録はないようである.

ヒゲナガハバチ亜科 Nematinae

9. *Priophorus* sp.

検視標本. [赤坂御用地]: 16-28. IV. 2003, 2♂; 5-10. VI. 2003, 7♂1♀; 11-17. VI. 2003, 3♂1♀; 1-14. X. 2003, 1♂; 29. IV.-13. V. 2003, 1♀; 14. V.-4. VI. 2003, 1♀; 2-8. VII. 2003, 1♀.

10. *Pristiphora* sp. 1

検視標本. [赤坂御用地]: 7-19. VIII. 2003, 1♂.

11. *Pristiphora* sp. 2

検視標本. [赤坂御用地]: 2-15. IV. 2003, 2♂; 1-14. X. 2003, 1♂1♀; 3-16. IX. 2003, 2♀. [常盤松御用邸]: 26. IX.-11. X. 2002, 5♂; 15-28. IV. 2003, 2♂; 13. V.-4. VI. 2003, 5♂; 4-10. VI. 2003, 1♂; 24. VI.-1. VII. 2003, 1♂.

篠原 (2000) が *Pristiphora* sp. 2 とした種である. 種名は確定できなかった.

12. *Pristiphora* sp. 3

検視標本. [赤坂御用地]: 29. IV.-13. V. 2003, 1♀.

13. サクラヒメハバチ *Trichiocampus pruni* Takeuchi, 1956

検視標本. [常盤松御用邸]: 13. V.-4. VI. 2003, 1♀; 24. VI. 2003, 2♀ (大和田); 28. IV.-13. V. 2003, 1♂; 24. VI. 2003, 1♂ (大和田).

分布. 日本 (北海道, 本州), 千島.

寄主植物. ソメイヨシノ.

都内では皇居ならびに港区の自然教育園からも記録されている (篠原, 2001).

ハムグリハバチ亜科 Heterarthrinae

14. ケヤキナメクジハバチ *Caliroa zelkoveae* Oishi, 1961

検視標本. [赤坂御用地]: 13. V. 2004, 1♂ (南部).

分布. 日本 (本州).

寄主植物. ケヤキ.

東京都からは初めての記録である.

15. クマイチゴハムグリハバチ *Metallus pumilus* (Klug, 1814)

検視標本. [赤坂御用地]: 29. IV.-13. V. 2003 1♀; 21. V. 2003, 2♀ (篠原); 3-16. IX. 2003, 1♀.

分布. 日本 (本州), ヨーロッパ.

寄主植物. クマイチゴ.

東京都区内では皇居から記録されている (篠原, 2000).

16. *Profenusa japonica* Togashi, 1981

検視標本. [赤坂御用地]: 2-15. IV. 2003, 1♀.

分布. 日本 (本州, 四国).

寄主植物. 不明.

都内では皇居ならびに港区の自然教育園からも記録されている (篠原, 2001).

17. *Profenusa* sp.

検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 1♀ 5♂ (篠原).

本種は *P. thomsoni* (Konow, 1886) に似るが, Benson (1952) による同種の記載とは合致しない部分があり, 検討を要する.

マルハバチ亜科 Blennocampinae

18. ムモンムネアカハバチ *Eutomostethus hyalinus* Takeuchi, 1936

検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 1♂ (篠原); 29. IV.-13. V. 2003, 3♀; 6. V. 2003, 2♂ (南部).

分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州), サハリン, 台湾.

寄主植物. 不明.

東京都区内では, 皇居および港区の自然教育園から記録されている (文部省国立自然教育園, 1952; 篠原, 2000).

19. *Eutomostethus lubricus* Seiyama, 1981

検視標本. [赤坂御用地]: 11-17. VI. 2003, 1♀; 3-16. IX. 2003, 2♂; 20. VIII.-2. IX. 2003, 1♂.

分布. 日本 (本州; 四国).

寄主植物. 不明.

東京都からは初めての記録である.

20. *Eutomostethus togashii* Seiyama, 1981

検視標本. [赤坂御用地]: 6. V. 2003, 1♂ (南部); 21. V. 2003, 15♂ (篠原).

分布. 日本 (本州).

寄主植物. 不明.

東京都区内では, 皇居と港区の自然教育園から記録されている (篠原, 2001).

21. ヒゲナガクロハバチ *Phymatocera nipponica* Togashi, 1958

検視標本. [赤坂御用地]: 29. IV.-13. V. 2003, 1♀.

分布. 日本 (本州, 四国, 九州).

寄主植物. ナルコユリ類.

東京都区内では, 港区の自然教育園から得られている (篠原, 2001).

22. ヒゲナガマルハバチ *Phymatocerosis japonica* (Malaise, 1931)

検視標本. [赤坂御用地]: 16-28. IV. 2003, 1♂.

分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州), 千島, サハリン.

寄主植物. ニワトコ.

東京都区内では, 皇居で得られている (篠原, 2000).

23. *Stethomostus* sp.

検視標本. [赤坂御用地]: 18. III.-1. IV. 2003, 1♀1♂; 2-15. IV. 2003, 3♂1♀; 16-28. IV. 2003 1♂1♀; 29. IV.-13. V. 2003, 1♀.

Stethomostus 属は日本から2種知られるが、記載から判断するかぎり本種はそのいずれとも異なる。皇居からも *Stethomostus* sp. として記録されている(篠原, 2000)。

24. *Zaphymatocera nipponica* Togashi, 1984

検視標本. [赤坂御用地]: 2-15. IV. 2003, 1♀.

分布. 日本(本州).

寄主植物. 不明.

本種はこれまで石川県と山形県からのみ知られていた(Togashi, 1984).

ハグロハバチ亜科 Allantinae

25. ハグロハバチ *Allantus luctifer* (Smith, 1874)

検視標本. [赤坂御用地]: 8. VII. 2002, 1♂(南部); 24. IX.-11. X. 2002, 4♂; 11-28. X. 2002, 1♀; 16-28. IV. 2003, 2♂; 29. IV.-13. V. 2003, 47♂1♀; 14. V.-4. VI. 2003, 5♂; 11-17. VI. 2003, 2♂; 18-24. VI. 2003, 7♂; 24. VI. 2003, 1♂; 30. VI. 2003, 4♀(南部); 23-29. VII. 2003, 1♂; 6. VIII. 2003, 1♀(南部); 3-16. IX. 2003, 1♂1♀; 17-30. IX. 2003, 2♂; 1-14. X. 2003, 2♂1♀; 13. V. 2004, 1♂(南部).

分布. 日本(北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬, 沖縄), サハリン, ロシア極東, 朝鮮半島, 台湾.

寄主植物. スイバ類, イタドリ.

東京都区内では, 皇居, 港区の自然教育園, 板橋区および北区から記録されている(篠原, 2000).

26. オシロオビクロハバチ *Allantus meridionalis* (Takeuchi, 1933)

検視標本. [赤坂御用地]: 16-28. IV. 2003, 1♀.

分布. 日本(本州, 四国, 九州).

寄主植物. バラ類, オランダイチゴ.

東京都区内では, 皇居ならびに港区の自然教育園から記録されている(篠原, 2001).

27. タデハバチ *Allantus nigrocaeruleus* (Smith, 1874)

検視標本. [赤坂御用地]: 24. IX.-11. X. 2002, 1♂1♀; 30. VI. 2003, 1♂1♀(南部); 3-16. IX. 2003, 3♀. [常盤松御用邸]: 26. IX.-11. X. 2002, 1♀.

分布. 日本(本州, 四国), 台湾.

寄主植物. ミゾソバ.

東京都区内では, 皇居ならびに港区の自然教育園から記録されている(篠原, 2001).

28. イタドリクロハバチ *Ametastegia polygoni* Takeuchi, 1929

検視標本. [赤坂御用地]: 16-28. IV. 2003, 1♂; 27. V. 2004 1♀(南部).

分布. 日本(本州, 九州).

寄主植物. イタドリ.

東京都区内では, 皇居ならびに港区の自然教育園から記録されている(篠原, 2001).

29. *Ametastegia* sp.

検視標本. [赤坂御用地]: 16-28. IV. 2003, 1♂; 29. IV.-13. V. 2003, 2♀2♂.

本種はこれまで日本から記録された *Ametastegia* 属のどの種とも異なる。今回は種名を確定することができなかった。

30. セグロカブラハバチ *Athalia infumata* (Marlatt, 1898)

検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 7♂3♀(篠原); 8. VII. 2002, 4♂(南部); 11. IX. 2002, 1♀(南部); 24. IX.-11. X. 2002, 3♀; 11. X.-28. X. 2002, 4♂2♀; 16-28. IV. 2003, 3♂; 6. V. 2003, 1♂(南部); 21. V. 2003, 4♂3♀(篠原); 6. VIII. 2003, 3♂(南部); 20. VIII.-2. IX. 2003, 2♂12♀; 3-16.

- IX. 2003, 16♂12♀; 8. IX. 2003, 2♂ (南部); 17-30. IX. 2003, 2♂3♀; 1-14. X. 2003, 6♂1♀; 5. X. 2003, 1♂ (南部); 15. VI. 2004, 1♂ (南部). [常盤松御用邸]: 15-30. VIII. 2002, 2♀; 30. VIII.-12. IX. 2002, 1♀; 12. IX.-26. IX. 2002, 1♀; 15. IV.-28. IV. 2003, 1♀; 11. X. 2002, 1♂ (大和田).
分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州), 千島.
寄主植物. イヌガラシ, アブラナ類.
東京都区内では, 港区の自然教育園, 目黒区, 板橋区, 北区ならびに皇居から記録されている (篠原, 2001).
31. ニホンカブラハバチ *Athalia japonica* (Klug, 1815)
検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 1♂2♀ (篠原); 24. IX.-11. X. 2002, 3♂5♀; 11-28. X. 2002, 5♂7♀; 16-28. IV. 2003, 1♂; 29. IV.-13. V. 2003, 2♂2♀; 6. V. 2003, 1♀ (南部); 20. VIII.-2. IX. 2003, 1♀; 3-16. IX. 2003, 6♀3♂; 17-30. IX. 2003, 1♂1♀; 1-14. X. 2003, 3♂3♀; 13. V. 2004, 1♀ (南部). [常盤松御用邸]: 12. V. 2003, 1♀ (篠原).
分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州, 沖縄), 東アジア, 西シベリア.
寄主植物. アブラナ類, タネツケバナ類など広くアブラナ科植物を食う.
東京都区内では, 港区の自然教育園, 板橋区, 北区, 杉並区ならびに皇居から記録されている (篠原, 2000).
32. イヌノフグリハバチ *Athalia kashmirensis* Benson, 1932
検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 1♀ (篠原); 8. X. 2002, 2♂2♀ (南部); 24. IX.-11. X. 2002, 7♀; 11. X.-28. X. 2002, 1♂8♀; 2-15. IV. 2003, 4♀; 16-28. IV. 2003, 1♂2♀; 20. VIII.-2. IX. 2003, 1♂4♀; 3-16. IX. 2003, 48♀; 17-30. IX. 2003, 1♂7♀; 8. IX. 2003, 1♀ (南部); 1-14. X. 2003, 1♂1♀; 15. X. 2003, 1♂ (南部).
分布. 日本 (本州, 四国, 九州, 対馬, 沖縄), 中国, インド.
寄主植物. クワガタ類.
東京都区内では北区, 皇居および港区の自然教育園から記録されている (篠原, 2001).
33. カブラハバチ *Athalia rosae ruficornis* Jakovlev, 1898
検視標本. [赤坂御用地]: 20. VIII.-2. IX. 2003, 1♂.
分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州, 沖縄), 東アジア.
寄主植物. ダイコン, カブ.
東京都区内では, 港区の自然教育園, 北区ならびに皇居で得られている (篠原, 2001).
34. *Empria* sp.
検視標本. [赤坂御用地]: 18. III.-1. IV. 2003, 2♂; 2-15. IV. 2003, 81♂4♀; 16-28. IV. 2003, 18♂7♀.
多くの個体が採集されたが, 日本産の *Empria* 属の分類学的研究はほとんどなされておらず, 種名を決定することができなかった.
35. ?*Hemibeleses ventralis* Takeuchi, 1952
検視標本. [赤坂御用地]: 1-14. X. 2003, 1♀.
今回得られた *Hemibeleses* 属の標本を検した結果, 本属の種を識別する際に有用な形質として使われてきた (Takeuchi, 1952; Togashi & Kondo, 1979) 産卵管鞘の形態にはかなりの変異が見られることが分かった. 従って本属の種については再検討が必要である. 上記の標本は *H. ventralis* の原記載にほぼ合うが, 産卵管鞘の形態と出現期が異なっており, 種名を確定できなかった.
36. ?*Hemibeleses yaemuguræ* Togashi & Kondo, 1979
検視標本. [赤坂御用地]: 2-15. IV. 2003, 3♀; 16-28. IV. 2003, 4♀; 29. IV.-13. V. 2003, 4♀.
前述のように, *Hemibeleses* 属の産卵管鞘の形態にはかなりの変異が見られる. 上記の標本は

H. yaemugurae の原記載にはほぼ合うが、本種と *H. ventralis* の区別点とされる (Togashi & Kondo, 1979) 産卵管鞘の形態においては、*H. ventralis* と同定すべき標本も含まれる。この2種は同種である可能性がある。

37. ツノキクロハバチ *Taxonus fulvicornis* Matsumura, 1912
 検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 1♀ (篠原)
 分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州), 千島, サハリン, シベリア, 朝鮮半島.
 寄主植物. イタドリ.
 東京都区内では, 皇居と港区の自然教育園から記録されている (篠原, 2000, 2001).
38. バラククロハバチ *Taxonus japonicus* Takeuchi, 1929
 検視標本. [赤坂御用地]: 29. IV.-13. V. 2003, 1♂.
 分布. 日本 (本州).
 寄主植物. ヤブイバラ.
 東京都区内では, 皇居から記録されている (篠原, 2000).

ハバチ亜科 Tenthredininae

39. クロムネハバチ *Lagidina irritans* (Smith, 1874)
 検視標本. [赤坂御用地]: 6. V. 2003, 2♂ (南部); 21. V. 2003, 2♂1♀ (篠原); 13. V. 2004, 1♂ (南部).
 分布. 日本 (本州, 四国, 九州).
 寄主植物. カキドオシ.
 東京都区内では, 港区の自然教育園ならびに皇居で得られている (篠原, 2000).
40. ツマジロクロハバチ *Macrophya apicalis* Smith, 1874
 検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 1♀ (篠原); 16-28. IV. 2003, 1♀; 29. IV.-13. V. 2003, 1♂; 6. V. 2003, 2♀ (南部); 5-10. VI. 2003, 1♀; 13. V. 2004, 1♀ (南部).
 分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州), 千島.
 寄主植物. ニワトコ.
 東京都区内では, 港区の自然教育園ならびに皇居で得られている (篠原, 2000).
41. クロハバチ *Macrophya ignava* Smith, 1874
 検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 1♀ (篠原); 16-28. IV. 2003, 1♂1♀.
 分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州), 朝鮮半島.
 寄主植物. ヤブイバラ.
 東京都区内では, 港区の自然教育園ならびに皇居で得られている (篠原, 2000).
42. コクロハバチ *Macrophya timida* Smith, 1874
 検視標本. [赤坂御用地]: 16-28. IV. 2003, 6♂1♀. [常盤松御用邸]: 15. IV.-28. IV. 2003, 1♂.
 分布. 日本 (本州, 四国, 九州), 朝鮮半島.
 寄主植物. イボタ類, ムラサキハシドイ.
 東京都区内では, 皇居で得られている (篠原, 2000).
43. コシアカハバチ *Siobla sturmii* (Klug, 1818)
 検視標本. [赤坂御用地]: 2-15. IV. 2003, 3♂1♀; 16-28. IV. 2003, 7♂7♀; 29. IV.-13. V. 2003, 1♀.
 分布. 日本 (北海道, 本州), 千島, シベリア, ヨーロッパ.
 寄主植物. 日本では未知であるが, ヨーロッパではキツリフネ (*Impatiens noli-tangere*) が記録されている (Taeger *et al.*, 1998).
 東京都区内では, 港区の自然教育園ならびに皇居で得られている (篠原, 2000).

44. コシアキハバチ *Tenthredo gifui* Marlatt, 1898
 検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 2♂ (篠原); 16-28. IV. 2003, 6♂3♀; 29. IV.-13. V. 2003, 13♂2♀; 6. V. 2003, 2♀ (南部).
 分布. 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州), サハリン.
 寄主植物. ハコベ類.
 東京都区内では, 港区の自然教育園ならびに皇居で得られている (篠原, 2000).
45. キコシホソハバチ *Tenthredo mortivaga* Marlatt, 1898
 検視標本. [赤坂御用地]: 6. V. 2003, 3♀ (南部).
 分布. 日本 (本州, 四国, 九州).
 寄主植物. ハコベ類, ミミナグサ.
 東京都区内では, 皇居で得られている (篠原, 2000).
- キモンハバチ類 *Pachyprotasis* spp.
 検視標本. [赤坂御用地]: 30. IV. 2002, 2♀ (篠原); 13. V. 2002, 2♀ (南部); 18. III.-1. IV. 2003, 5♂2♀; 2-15. IV. 2003, 235♂44♀; 16-28. IV. 2003, 54♂42♀; 29. IV.-13. V. 2003, 67♀; 14. V.-4. VI. 2003, 21 ♀; 21. V. 2003, 1♀ (篠原); 30. III. 2004, 1♀ (慶野).
 キモンハバチ (*Pachyprotasis*) 属は互いによく似た多くの種を含み, また未記載種も多い. 検視標本には数種が含まれると思われるが, 今回は種名を決定できなかった.

Summary

A total of 51 species of sawflies and woodwasps collected in the Akasaka Imperial Gardens and the Tokiwamatsu Imperial Villa, Tokyo, are listed with collection data, distributional range and known host plants for each species. They are one species of Xyelidae, one species of Siricidae, four species of Argidae, and 45 species of Tenthredinidae. Eleven species of the Tenthredinidae have been determined only to genera or questionably determined to species. In addition to these, a long series of specimens of the tenthredinid genus *Pachyprotasis* were collected but not determined to species. All the 51 species, with the exception of a nematine, *Trichiocampus pruni* Takeuchi, 1956, were found in the Akasaka Imperial Gardens, whereas two species of Argidae and ten species of Tenthredinidae were found in the Tokiwamatsu Imperial Villa. Five tenthredinid sawflies, namely, *Loderus eversmanni obscurus* (Marlatt, 1898), *Nesoselandria ventralis* Takeuchi, 1941, *Caliroa zelkoveae* Oishi, 1961, *Eutomostethus lubricus* Seiyama, 1981, and *Zaphymatocera nipponica* Togashi, 1984, are newly recorded from Tokyo. The species composition of sawflies and woodwasps of the Akasaka Imperial Gardens and the Tokiwamatsu Imperial Villa has much in common with that of the Imperial Palace and the Gardens of the Institute for Nature Study, Tokyo.

引用文献

- 阿部正喜・富樫一次, 1989. Xyelidae ナギナタハバチ科 ほか. 平嶋義宏 (監修), 日本産昆虫総目録, II, pp. 541-560.
- Benson, R. B., 1952. Hymenoptera 2. Symphyta. Section (b). *Handbk Ident. Br. Insects. R. ent. Soc. Lond.*, 6 (2b): 51-137.
- Blank, S. M., A. Shinohara & B.-K. Byun, in press. The East Asian *Xyela* species (Hymenoptera: Xyelidae) associated with Japanese Red Pine (*Pinus densiflora*; Pinaceae) and their distribution history. *Ins. Syst. Evol.*, Copenhagen, 36.
- 文部省国立自然教育園, 1952. 国立自然教育園動物目録. 第1集. 昆虫綱. 国立自然教育園基礎資料, (1): 1-42.
- 内藤親彦・吉田浩史・中峰 空・森田年則・池田隆直・鈴木壽也・中西明德, 2004. 兵庫県におけるハバチ類の種多様性. 兵庫県立人と自然の博物館, 自然環境モノグラフ, (1): (1-2) + (pl. 1-10) + 1-85.

- 奥谷禎一, 1967a. 日本産広腰亜目(膜翅目)の食草(I). 日本応動昆誌, **11**: 43-49.
- 奥谷禎一, 1967b. 日本産広腰亜目(膜翅目)の食草(II). 日本応動昆誌, **11**: 90-99.
- 奥谷禎一, 1970. 日本産広腰亜目(膜翅目)の食草(III). 日本応動昆誌, **14**: 25-28.
- 大和田守・有田 豊・神保宇嗣・岸田泰則・中島秀雄・池田真澄・新津修平・慶野志保子, 2005a. 赤坂御用地の鱗翅類. 国立科博専報, (39): 55-120
- 大和田守・有田 豊・神保宇嗣・新津修平・慶野志保子, 2005b. 常盤松御用邸の蛾類. 国立科博専報, (39): 121-145.
- 篠原明彦, 1986. ハバチ類. 板橋区産膜翅目目録, 広腰亜目. 板橋区昆虫類等実態調査, pp. 123-124, 126-127.
- 篠原明彦, 1998. 日本産ハチ目科名表 広腰亜目. 日高敏隆監修, 日本動物第百科 10, 昆虫 III, pp. 65-66. 平凡社, 東京.
- 篠原明彦, 2000. 皇居のハバチ・キバチ類. 国立科博専報, (36): 295-305.
- 篠原明彦, 2001. 自然教育園のハバチ・キバチ類. 自然教育園研究報告, (33): 281-288.
- Taeger, A., E. Altenhofer, S. M. Blank, E. Jansen, M. Kraus, H. Pschorn-Walcher & C. Ritzau, 1998. Kommentare zur Biologie, Verbreitung und Gefährdung der Pflanzenwespen Deutschlands (Hymenoptera, Symphyta). In Taeger, A. & S. M. Blank (eds.), Pflanzenwespen Deutschlands (Hymenoptera, Symphyta), Kommentierte Bestandsaufnahme, pp. 49-135. Goecke & Evers, Keltern.
- Takeuchi, K., 1941. A systematic study on the Suborder Symphyta of the Japanese Empire (IV). *Tenthredo*, **3**: 230-274.
- Takeuchi, K., 1949. A list of the food-plants of Japanese sawflies. *Trans. Kansai ent. Soc.*, **14**: 47-50.
- Takeuchi, K., 1952. New and unrecorded sawflies from Shikoku, Japan (II) (Hymenoptera: Symphyta). *Trans. Shikoku. ent. Soc.*, **3**: 47-54.
- Togashi, I., 1984. The genus *Zaphymatocera* Sato (Hymenoptera: Tenthredinidae) in Japan, with description of a new species. *Proc. ent. Soc. Wash.*, **86**: 443-445.
- Togashi, I. & T. Kondo, 1979. A new species of the genus *Hemibeleses* Takeuchi (Hymenoptera: Tenthredinidae) from Japan. *Kontyû*, **47**: 402-405.